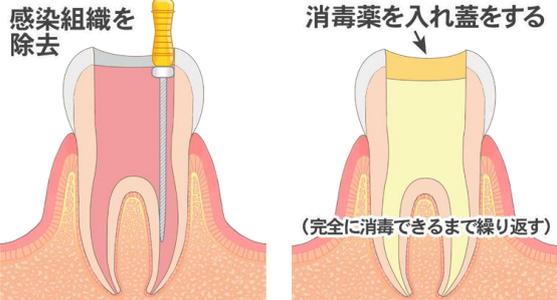
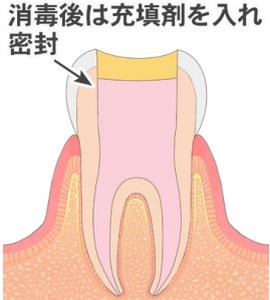
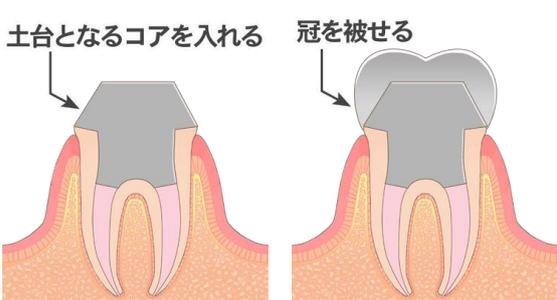
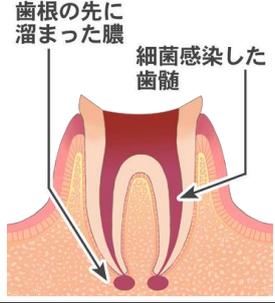
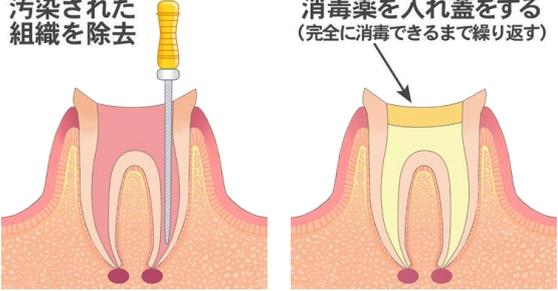
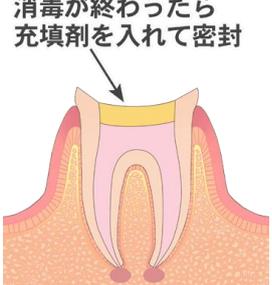
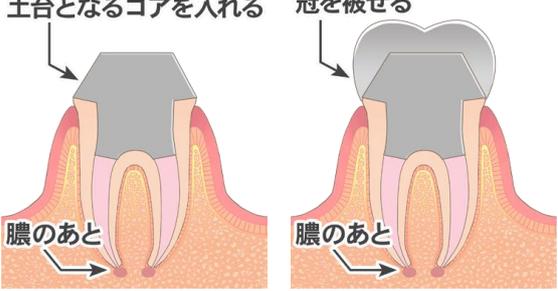


歯の根の治療

- ・虫歯が歯髄（神経）に達した場合

 <p>歯髄に達した虫歯</p>	<p>虫歯が歯髄に達した状態。 歯髄が生きていて痛みが出るので、麻酔を使って治療を行います。</p>
 <p>感染組織を除去</p> <p>消毒薬を入れ蓋をする</p> <p>(完全に消毒できるまで繰り返す)</p>	<p>虫歯に感染した歯髄を除去していきます。 1回の治療の終わりには、消毒薬を入れて仮の蓋をします。 歯の中がきれいになるまで数回繰り返します。</p>
 <p>消毒後は充填剤を入れ密封</p>	<p>消毒が終わり歯の中がきれいになったら、細菌が再び感染しないように、歯髄があった空間をふさいでいく充填剤を入れて密封します。</p>
 <p>土台となるコアを入れる</p> <p>冠を被せる</p>	<p>歯髄を失うと歯は欠けやすくなるため、基本的にクラウン（かぶせ物）を製作します。歯の残っている量が少ない場合は型取りを行い土台を作り、多い場合は直接、土台を作ります。その後、クラウンの型取りを行い、技工士さんに製作してもらい、調整し装着します。</p>

・根の先に膿がたまった場合

 <p>歯根の先に溜まった膿 細菌感染した歯髄</p>	<p>細菌感染が歯根の先まで進行し膿が溜まっている状態。 歯髄が死んでいる、または以前に治療して充填剤が入っており、慢性化している場合は痛みがありません。</p>
 <p>汚染された組織を除去 消毒薬を入れ蓋をする (完全に消毒できるまで繰り返す)</p>	<p>感染した歯髄あるいは充填剤を除去していきます。 1回の治療の終わりには、消毒薬を入れて仮の蓋をします。 歯根の先の膿がきれいになるまで数回繰り返します。</p>
 <p>消毒が終わったら 充填剤を入れて密封</p>	<p>消毒が終わり歯の中がきれいになったら、細菌が再び感染しないように、充填剤を入れて密封します。</p>
 <p>土台となるコアを入れる 冠を被せる 膿のあと 膿のあと</p>	<p>クラウン（かぶせ物）を製作します。土台を装着し、その後、クラウンの型取りを行い、技工士さんに製作してもらい、調整し装着します。 膿のあとはすぐにはなくなり、時間をかけてなくなります。</p>